

思い出に残った全国大会

テナーサクソ 中2年 内田 有咲

私は、海洋少年団音楽隊に入ってから、2年目になりました。

この年初めて、日本海洋少年団全国大会に参加しました。

最初は『海洋少年団の全国大会は、どんなものだろう！？』って、思っていたけれど、やってみれば楽しく、ときに自分の身体で厳しいことが起きたけれど、それを乗り越える勇気をくれる人たちがいたから、乗り越えられたのだと思います。

また、散々多くの人に迷惑をかけてしまいました。なぜなら、全国大会の真っ最中にお腹の傷みで、自分のパートを吹くことができなかつたけれど、サクソパートの人が代わりに吹いてくれたおかげで助かりました。

全国大会をとおしては、色々な人に迷惑をかけたりしてしまつたけれど、楽しく思い出に残る大会になりました。

次の全国大会では、このような事のないように、良い思い出に残るものにしたいです。

全国大会を終えて

ホルン 中2年 久我 琴音

初めての東京大会は、前回の鹿児島大会よりも楽で、練習が真剣に出来ました。

また、次の全国大会にも出たいです。

本番では、他の団の前での演奏は、とてもきんちょうしました。

演奏しているうちになれてきましたが、やはりきんちょうしました。

海洋少年団全国大会

クラリネット 中3年 萩原 美晴

全国大会で、私が一番心に残っているのは、開会式で団員入場の時にマーチを演奏したことです。

演奏した4曲とも、好きな曲だったので、とても楽しかったです。

難しいフレーズがたくさん出てきて、吹けるようになるまで大変でしたが、本番は良い演奏ができたので、頑張つて良かったなと思つました。

次に、新しい曲を演奏する時も、最初は全然吹けなかつたとしても、あきらめずに一生懸命練習して、完成を目指したいと思つます。

パレード

フルート 小6年 清水 誉子

私が海洋少年団に入って、いちばん楽しかったことはパレードです。

パレードでは、『勝利の父』と『錨を上げて』を演奏しました。

パレードをしている時に、回りで見ている人が、手拍子をしてくれたのが、とてもうれしかったです。

今年のパレードでは、まちがえてしまったり、音を忘れてしまったりしたけれど、来年は完ぺきに吹きたいです。

30周年を祝して

パーカッション 中1年 大松 ちひろ

私は入団4年目で、全国大会を二度体験しています。

一度目は、鹿児島まで行き、パレードもしました。

二度目は東京でしたが、オリンピックセンターへ行きました。どちらも良い思い出です。

そんなすばらしい時間を過ごさせてくれた音楽隊も、30周年をむかえました。

10年後、20年後も40周年、50周年と続いてほしいです。

30周年、おめでとうございます。

私の思い出

トランペット 高1年 小嶋 友子

私の、海洋少年団での一番の思い出は、マーチングをしたことです。

もともと、マーチングが好きで、父と講演を見に行ったりして憧れていた、マーチングをすると聞いたときは、喜びが爆発しました。

しかも、大好きなトランペットで出来るとは。

学校でトランペットができなくても、ここ（海洋）にきて、マーチの打楽器も恰好いいけど、私はトランペットが大好きです。

ここ（海洋）で、トランペットが吹けて幸せです。ありがとうございます。

30年記念によせて

フルート 中4年 大松 ようこ

私が、海洋少年団音楽隊に入団して3年。 全国大会の参加が2回。

音楽に関するだけでなく、日常的に地域とのふれあい、また全国大会では国外の方々との交流など、入団して様々な体験をさせていただきました。

何十年もかけて、この素晴らしい団ができたこと、そして今ここに居られることを誇りに思う。

これからも、海洋少年団の繁栄を願って。

海洋少年団に入隊して良かったこと

ホルン 中3年 伊勢谷 知詳

私は六年間、子どもブラスバンドから海洋少年団を続けてきました。

その中で、一番印象深かったことは、日本丸に乗船したことです。 日本丸とは大きな船で、私が当時小学四年生のときに、船内を見せていただきました。

一般の人は、船の中に入ることは、ゆるされていませんでした。私は子どもブラスに入っていたおかげで、素晴らしい経験ができました。

あの広くて大きな船は、子ども心に果てしなく深い影響をあたえてくれました。

海洋少年団員になって

アルトサクソ 中1年 坂 更紗

私は、海洋少年団に入って、たくさんの事を学びました。

運動会から全国大会まで、色々な行事を体験したけれど、一番はやっぱりヨットの開会式の演奏です。

たくさんの人の前で、海辺で、雨の中で吹きました。

あれが、私の「一番」です。

これからも、たくさんの行事で、たくさんの思い出が出来るといいです。

鹿児島大会の思い出

トランペット 中3年 東 沙恵

私は、二年前の全国大会で、初めてマーチングをしたのが印象に残っています。

行進する時の歩幅とか、構える姿勢を教えてもらいました。

本番も、たくさんの人とやれて楽しかったし、大勢で何かをするのが、とても楽しかったです。

みんなで、体育館で寝たことや、怖い話を聞いたことで、みんなとの仲を深められたと思います。

パレードについて

パーカッション 小6年 木村 匡那子

パレードは、初めての参加でした。 列の先頭のほうだったので、とてもきんちょうしました。

また、スネアドラムが進んでいくにつれて、とても重く感じました。 たたきながら歩くのは、難しかったです。

いろいろな人に、見てもらいました。 きんちょうしたけれど、楽しかったです。

海洋少年団の活動

パーカッション 小5年 吉田 紗虹

私が、海洋の練習をしているの感想は、各パートレッスンでドラムをやった事です。

ドラムでは、手のみ・足のみ・両足・両手・両手両足で、たたくレッスンを練習しています。 私が一番好きなたたき方は、一番基本のリズムです。 一番苦手なのは、両足片手のたたき方です。

まだ曲は出来ないけれど、これからがんばって曲をたたけるようになりたいです。

全国大会で思ったこと

クラリネット 中2年 鎌田 飛鳥

私は、全国大会に行くのがいやでした。
なぜなら、暑いなかずっと練習しなければいけないからです。
でも、たくさん練習しているうちに、少し上手くなった気がするので、練習をすれば、やっぱり上手になるんだなあ、とあらためて実感しました。

全国大会を終えて

パーカッション 小6年 木村 匡那子

私は、初めて全国大会に参加しました。
きんちょうしたけれど、上手に演奏できたと思います。
一番スネアで難しかったのは、「錨を上げて」です。 バスドラムで難しかったのは「希望の空」です。
でも、どちらも本番は上手く出来たと思うので良かったです。
二年後も、がんばりたいです。

全国大会で思ったこと

アルトサククス 中1年 坂 更紗

私は、2回目の全国大会でした。
前回の鹿児島では、熱を出してしまったし、緊張していたので、あまり覚えていませんでしたが、今回の大会は、大勢の人が集まっているところを、はっきり見ることが出来ました。
練習などは大変だったけど、良い思い出、経験になったと思いました。
次回の全国大会も、参加出来るといいです。

全国大会にて

ホルン 中3年 伊勢谷 知詳

私は今回の全国大会で、団員が協力し合う素晴らしさを実感しました。
音楽隊の中でもそうですが、他の団が全員で集まって、練習している様子は、心に響くものがありました。
また、全国大会で集まった千人近くの団員を見て、私は自分がとんでもない団体に所属してしまった、という驚きがありました。
私も、この中の一員なのかと思ったら、鳥肌が立つようで、誇りを感じました。

全国大会の感想

トランペット 高1年 小嶋 友子

私は、今年の全国大会に、3日目の閉会式しか出ることができませんでした。
高校の部活動で、コンクールに出る練習のためでした。
ずっと、海洋のみんなと練習してきた「希望の空」や「旧友」なども、私はファーストを頂いていたのにも拘わらず、直前でパートを変えてもらうことになり、申し訳なかったし悔しかったです。
でも、みんなと1日でも、東京の全国大会で演奏できたことを、嬉しく思っています。

東京大会の思い出

トランペット 中3年 東 沙恵

二回目の全国大会でした。
開会式のマーチは、練習の時と違って、完璧には吹けなかったけれど、いい経験になりました。
ファンファーレで立った時に、リズムを忘れてしまって焦りました。
閉会式では、何回も「君が代」を吹きました。
長いバージョンと、短いバージョンを、間違えずに吹けて良かったです。
生活班のみんなと、お菓子を食べたりトランプしたり、仲良く過ごすことができて良かったです。

全国大会の思い出

パーカッション 小5年 吉田 紗虹

私の、全国大会を終えての思い出は二日目の演奏です。

一番印象に残っている曲は「錨を上げて」です。

私は、全てのドラムマーチと曲がバスドラだったので、終わった時には右手が痛かったけれど、上手に演奏しきれたと思ったので良かったです。

全国大会

中3年 トランペット 片平 由夏

今年の全国大会は、東京でマーチングもなかったなので、おととしとは違った楽しみ方がありました。

東京であるとはいえ、知っている場所ではないので迷子になるか心配で、友達とずっと一緒にいました。演奏する事はもちろん、私が楽しみにしていたのは寝る時でした。

一日目も二日目も、思った通りすごく楽しくて充実した三日間だったと思います。

全国大会が終わって二日後にコンクールだったので、つかれて体調をくずしたりしましたが、どちらも全力で取り組めたので、とてもいい思い出になりました。

また、再来年の全国大会は、遠くに行って観光とかもしたいです。マーチングもしたいです。

今まで、海洋を続けてきて一番印象に残ったのは、鹿児島での全国大会です。

私にとって、学校以外の旅行は初めてでしたし、飛行機の乗ったのもマーチングをやったのも初めてでした。それに、その時のマーチングは、今よりもすごく上手かったと思います。暑かったけれど、とても楽しい25分間だった記憶があります。学校とは違って自由で、とにかく楽しかったです。

海洋は、今の私を作りあげてくれたものだと思います。高校に入っても海洋はつづけるし、海洋にはすごく感謝しています。

でも、『音楽隊』であるとはいえ、『海洋少年団』を名乗るなら、手旗とかもやってみたいと思いました。

何はともあれ、これからもよろしくお願いします。

全国大会での思い出

6年 パーカッション 小川 遙夏

私は、全国大会で楽器運びから演奏、楽器をしまうところまで、全員で協力して行ないました。だから、協力することの大切さを学びました。

全国大会では、二泊三日の間みんなで力を合わせていたから、成功できたと思います。

これからも、力を合わせて演奏に取り組んでいきたいです。

次の大会は頑張ります

中3年 パーカッション 岡崎 葉

今年の大会は、パレードがなかったのでマーチングはしませんでした。

しかし、入場してくる隊員の人たちが行進しやすいように、指揮とずれないようにと思い、すごく緊張しました。でも、無事に間違えることなく終えることができ、とても良かったです。

次の大会の時までに、今よりうまくなれるように頑張ります。

最後の全国大会

クラリネット 高3年 梅本 瑠依

私が、クラリネットを初めて9年が経ちました。

子どもブラスバンドで2年間学び、音楽隊に入って6年目になります。

小学校六年生の時の千葉大会、高校一年生の時の鹿児島大会、そして今年の東京大会と、三回の全国大会に参加しました。

今年で、私は高校三年生になり、これからは受験もあり、今回の全国大会が最後になりました。

9年間学んできたことを、精一杯出しきれるよう演奏しました。

外国の海洋少年団の方々と、お話しできたこと、音楽隊のみんなと仲良くなれたこと、すべて私の思い出です。

子どもブラスバンドの時から、お世話になった、佐藤隊長をはじめとした指導者の方々、本当にありがとうございました。

音楽隊のみんなも、たのしい思い出ありがとう！ ずっと、応援しています。

OSF会のあらまし (Q&Aにて、ご案内します。)

Q・どのような人の集まりでしょうか。・・・

A・会員は、基本的に全てが【海洋少年団】の出身者、つまりOB・OG中心の会ですから、世間一般で言う処のOB会ですが、原則として会員資格が社会人に限られています。現在の本団役員で、正副団長・隊長・副隊長は正会員で、音楽隊・父母会の方にも会友として、参加して戴いています。現在の正会員は20名強です。支援活動のほか、親睦の他に各地で開催されるカッターレースにも出場して居ります。10年程前には、沼津港のレースで総合優勝2回、準優勝1回を獲得しました。

Q・どの様にして、出来た会ですか。・・・

A・昭和32年頃に、団員の減少に悩んでいましたが、地元小中学校の理解が深まり、団員募集の効果が実った結果、昭和40年代の初頭に掛けて、高等級団員(第6期～9期生)が増加し、日常訓練や奉仕活動が活発になりました。卒団して社会へ巣立つ団員がある一方、卒団後リーダーとして活躍するメンバーもありますが、その双方を団の中で【青年部】としましたが、昭和40年に大田区青年団体連合会が結成され、三渡隊長(当時)が事務局長に就任した事から、【青年部】を加盟登録して、大田区青年大会への参加、地元の各種行事に協力して絆を深め、その後OSF会の前身であったOB会を、昭和57年に改組して現在の形になりました。

Q・どうして、会員は社会人に限ったのですか。・・・

A・単なるOB会であれば、好きな時に親睦だけで終わっても良いと思いますし、その様な時期もありましたが、それでは海洋少年団で過ごした貴重な年月と経験が、社会に活かされる機会が少ないと、話し合っていました。そこで、海洋少年団活動の側面的な応援と、責任ある後援組織として機能する為、会員の要件として、会費を負担する事ができる卒団社会人と限りました。もちろん、卒団者でも未だ社会人で無いOB、転勤して活動に参加が出来ない人、父母会の中で活動に賛同される方、および会員のご家族は全て【OSF会友】として、いつでも【新年会・カッターレース・旅行】など、気軽に参加して戴いています。

Q・具体的な、支援活動は何ですか。・・・

A・日常訓練の中で、カッター訓練等は様々な海洋気象の影響と、リーダー・団員達だけで十分に活動できない事もあり、団の要請により応援メンバーを派遣します。定例的な支援としては、5～6月に実施されるPR活動【親子体験教室】で、カッターカヌー・ヨットなど希望者をフォロー、また年末の餅つきなどを応援しています。

本年8月、第51回全国大会がオリンピック青少年センター及び、東京海洋大学を会場として開催されましたが、団役員を含むOSF会員13名が実行委員として、開会式を始めとして各種の行事運営に携わる他、当会として若干の寄付金を提供しました。また、OSFの正会員は自動的に育英会員となるので、会費の一部が育英会に納入され団活動に活かされています。

Q・OSFの3文字、何の意味を表わしていますか。・・・?

A・この会の歴史は、30年以上ですが定説はなく、会員と周囲も勝手に想像しています。
O・・・大田区団 S・・・卒団者 F・・・友人・家族 と理解してください。
今後とも、皆さまと一緒に大田区団の発展と、子供達の為に尽くしてまいります。

OSF会 10年間の歩み

(平成16年から平成25年 秋季研修旅行は除く)

平成年	月	主な活動及び行事等 (抜粋)	備考
16年	1月 5月 7月 12月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第18回沼津港カッターレース、5回目で2度の総合優勝 初の、還暦会員お祝いの会開催 (対象者1名) 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	シニアの部新設 弥生会館
17年	1月 3月 4月 5月 12月	定例総会・新春懇談会 品川商店街「旧・東海道」・菜の花まつり奉仕 第4代団長に、OSF事務局長・安藤日出男氏が就任。 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第19回沼津港カッターレースで、シニア優勝・総合5位 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	
18年	1月 4月 3月 5月 12月	定例総会・新春懇談会 還暦会員お祝いの会開催 (2回目対象者1名) 品川商店街「旧・東海道」・第2回菜の花まつり奉仕 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第20回沼津港カッターレースで、シニア優勝・総合3位 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	弥生会館
19年	1月 5月 8月 10月 12月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第21回沼津港カッターレース、最終回だが準決勝で惜敗 第48回全国大会 (千葉県) OSF会カッターにオープン参加 還暦会員お祝いの会開催 (3回目対象者2名) 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	私学会館
20年	1月 5月 12月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第25回横浜港カッターレース、初の挑戦も予選通過ならず 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	
21年	1月 5月 11月 12月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第26回横浜港カッターレース、再度挑戦も予選の壁は厚い 還暦会員お祝いの会開催 (4回目対象者1名) 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	研修旅行と併催
22年	1月 5月 9月 12月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第27回横浜港カッターレース、2チームエントリーでも・・・ 東京港航海訓練 (東京救難所・曙光乗船) 団・音隊・OSF 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	
23年	1月 5月 6月 12月	定例総会・新春懇談会 第28回横浜港カッターレース、今年も予選通過ならず 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	
24年	1月 5月 10月 12月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第29回横浜港カッターレース、過去最速も惜敗 安藤団長・国土交通大臣賞受賞 (運輸関係) 訓練納め、餅つき大会に奉仕活動	2分40秒 23位
25年	1月 5月 8月 10月	定例総会・新春懇談会 団広報行事・親子体験教室の奉仕活動 第30回記念・横浜港カッターレース、シニアの部3位入賞 第51回全国大会 (東京・オリンピックセンター他) 参加 還暦会員お祝いの会開催 (5回目対象者3名) 通算8名 結団60周年記念行事を共催 (音楽隊創立30周年)	弥生会館